

# まちの話題

## 木製おもちゃを 保育園へ

3月3日、二瀬本保育園とさくらんぼ愛園に木製のおもちゃが送られました。  
これは、町内の子ども達やその保護者へ木のぬくもりに親しみを持ってもらい、木の文化や環境の保全に森林が大事だということを知ってもらうために、上益城地域木材需要拡大推進協議会が、毎年行っているものです。  
おもちゃを買った子どもたちは大喜びで、早速積み木などをして楽しんでいました。



## くまモンin 小峰へき地保育所

2月10日、小峰へき地保育所へくまモンがやって来ました。くまもとキッズウィークの一环で、県内の保育所や小学校を、基本的な生活習慣を子ども達へ教えるため周られています。今回、県内の127の応募から選ばれた小峰へき地保育所。園児と清和小学校の1年生児童が、くまモンと一緒に遊びを交えながら、朝ごはんの大切さやテレビゲームのやり過ぎに注意することなど、基本的な生活習慣を学びました。



## ひな祭りふれあい 餅つき大会

2月23日、矢部小学校で浜町B自治振興区による「ひな祭りふれあい餅つき大会」がありました。この餅つきは、子ども達の健全な成長を願い、また世代間交流の一环として毎年開催されています。当日は40人ほどの子どもと、60人ほどの保護者が昔ながらの餅つきを体験。杵が重くて持てない子ども達は大人が一緒に杵を持ちながら餅つきを体験しました。また、つきたての餅をもちろぶたの上で丸餅とひし餅を作り、普段はなかなか経験できない餅つきに大盛況でした。



## 山都町写真 コンテスト

2月15日に「山都町写真コンテスト表彰式」が中央公民館で行われました。同コンテストは、山都町と全日本写真連盟熊本本部主催で行われ、県内外から71名(237点)の応募がありました。  
作品は写真家三苦正勝氏により審査され、最優秀賞には、ダイナミックな星の奇跡と、美しい橋の質感を魅せる通潤橋を切り取った、平岡健三さん(八代市)の作品「満天の通潤橋」が選ばれました。  
表彰式には、最優秀賞に選ばれた平岡さんのほか、優秀賞2点、特選2点、入選22点の入賞者が表彰されました。  
※これらの入賞作品は3月25日(火)から3月30日(日)まで崇城大学ギャラリー(熊本市中心区花畑町10-25)で展示されるほか、山都町観光案内所ル・ボンで9月に展示されます。

## 田小野年禰神社遷座祭

2月23日、田小野地区の年禰神社で遷座祭が開催されました。  
当日は早朝から80人ほどの地元住民と関係者が集まり、御堂の改築を祝いました。昭和54年に建築された御堂は、以前から地元の憩いの場として親しまれてきましたが、長年の風雨により老朽化が進んでいました。  
地元住民から寄付を募り協力を得ながら昨年より完成。改築の期成会会長である成瀬繁雄さんは、「田小野地区を見守る神様としてこれまでも地域に親しまれてきました。これからも地域の集いの場として活用していければ。」と話されました。



改築を皆で祝いました。

## 学校保健委員会

2月7日、中央公民館で山都町学校保健委員会による平成25年度第2回山都町学校保健委員会研修会が行われました。研修内容はくまもと心理カウンセリングセンターの岡崎光洋先生による「現代の子育てで特に大切なこと」をテーマにご本人がカウンセリングを通して感じた世代ごとの子どもを比較して見える、現代の子どもたちの「心を鍛える」ことについて話されました。また、講演の後には今年度より発足した「清和地区学校保健委員会の取り組み」について清和中学校の道久美穂養護教諭による幼児期から中学校までの健康課題の把握や改善のために充実した健康教育をこれまでの活動について話されました。



## 明光保育園で講演会

2月15日、明光保育園で育児講演会が開催されました。毎年、保護者向けに開催されていて、今回はハートフルコミュニケーション(横浜市)の菅原裕子さんを招き、「子どもの心のコーチング」と題し講演がありました。「愛すること」「責任」「人の役に立つ喜び」等を中心に、特に今回はコーチングという点で、実際に子どもとの立場になったりして、親から言われた事に子どもがどう感じるかなど実体験を踏まえての講演で、これまでにない形の講演会となりました。実際に講演を聞いた保護者からは、「言葉一つで子どもを安心させたり、本心を聞きだしたりするテクニックに驚いた。この講演をきっかけに、少しずつでも子どもに対する接し方を変えられたらと思う。」などの意見が出されました。



## 「アジア・アフリカ支援米」 出発式

矢部高校では、地元のNPO法人と協力し「アジア・アフリカ支援米」の栽培に取り組みました。昨年、6月に、食農科学科、緑科学科、普通科の1年生と、食農科学科2年生で田植えを行い、秋に収穫しました。  
2月22日には、熊本市西区の古町小学校で出発式が行われ、本校の食農科学科2年生も参加し、県内で栽培された支援米(約2トン)をトラックに積み込みました。  
式のなかで「矢部高校の生徒たちが協力しながら栽培したお米が、食糧難に苦しむ国々の人々の役に立てることがうれしい。」と話してくれました。  
なお、矢部高校で栽培したお米はカンボジアに送られます。



支援米の積み込み